

第1回京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の開催について

京都市では、本格的な人口減少社会の到来や若年・子育て層の市外流出など、本市の持続性を脅かす様々な課題に対応しながら、将来にわたって安心安全で暮らしやすく、京都の都市特性を踏まえた持続可能な都市構造の実現を図るため、本年9月に、「京都市都市計画マスタープラン」の見直しを行いました。

この度、地域ごとの特性を踏まえた都市機能の集積・充実や都市空間の魅力創出のための都市計画上の方策について検討を行うため、第1回京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1 日 時

令和3年12月3日（金） 午後6時～午後7時30分（予定）

2 開催場所

京都御池創生館 地下1階

（京都市中京区御池通柳馬場東入東八幡町579番地）

3 議 事

- (1) 座長の選出
- (2) 諮問
- (3) 検討の趣旨について
- (4) 京都市や都市計画に関連する動向について
- (5) 各地域の将来像と現況について
- (6) 今後のスケジュールについて

4 会議の傍聴

(1) 傍聴定員

5人 ※ 当日は別途記者席を用意します。

(2) 傍聴手続

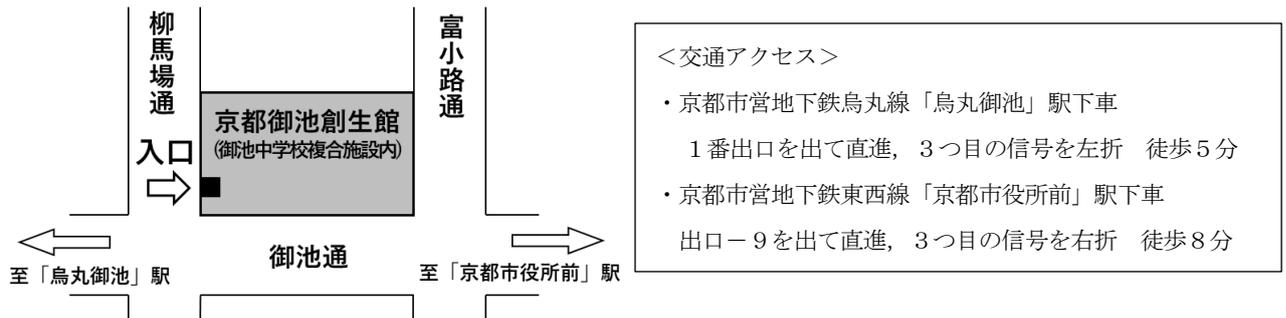
傍聴の受付は、当日の午後5時30分から午後5時45分まで会場前の受付で行い、傍聴希望者が定員を超えた場合は、抽選により傍聴者を決定します。

(3) その他

京都市情報公開条例第7条に基づき、委員会が公開すべきでないとする場合は、当日非公開となる場合があります。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクを着用するなど咳エチケット等を心がけていただくとともに、当日の体調に御配慮いただき、咳や発熱などの症状がある方は傍聴を御遠慮いただきますようお願いいたします。

5 会場周辺図



※烏丸通から東へ6筋目, 河原町通から西へ5筋目が柳馬場通です。

※1階オフィススペース用入口(自動ドア)からお入りください。

※御来場の際は, 公共交通機関を御利用ください。

(参考)

1 都市計画マスタープランの見直しについて

京都市では, 平成24年に都市づくりの基本的な方針として「京都市都市計画マスタープラン」を策定し, 「保全・再生・創造」の土地利用を基本としながら, それぞれの地域が公共交通などによりネットワークされた, 暮らしやすく, 持続可能な都市構造を実現するための都市づくりを進めてきました。

一方, この間, 本格的な人口減少社会の到来や若年・子育て層の市外流出, 頻発する自然災害などへの対応が喫緊の課題となっているとともに, 「SDGs」や「レジリエンス」といった新たな概念が示されるなど, 本市を取り巻く動向は大きく変化しています。

また, ウィズコロナ・ポストコロナ社会への展望についても, これからの京都のまちの将来像を描き都市づくりを進めるうえで重要な視点です。

そこで, そのような社会経済情勢の変化や時代の潮流などを踏まえ, 厳しい財政状況も見据えながら新たな課題やニーズへの対応を図るため, 本年9月に「京都市都市計画マスタープラン」の見直しを行いました。

2 京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会委員名簿

氏名	役職名等
大庭 哲治	京都大学大学院准教授
佐藤 由美	奈良県立大学教授
塚口 博司	立命館大学名誉教授
辻田 素子	龍谷大学教授
中嶋 節子	京都大学大学院教授
中谷 真憲	京都産業大学教授

(敬称略, 五十音順)